Japan Stone Center
日本石材センター株式会社
2025 年 10 月号
MAIL MAGAZINE
メールマガジン

中国の国慶節、今年のスケジュールは？

JSC 貿易部ニュース　中国編

お正月の春節と並び、中国の人々にとって重要な祝日のひとつが国慶節です。
国慶節は、10 月 1 日に設定されている中国の建国記念日ですが、前後を含め連休になるため、多くの人が国内外問わず旅行に出かけ、民族大移動が起こる時期でもあります。

ちなみに中国の建国記念日ですが、中国では「十一（シィーイー）」とも呼ばれ、1949 年 10 月 1 日に天安門広場において、中華人民共和国の建国式典（開国大典）が行われ、その際、毛沢東が中華人民共和国の成立を宣言したことからこの日に設定されているそうです。
あと、連休の決め方が日本と少し違うのは、日本の場合、連休は毎年機械的に決まりますが、中国は祝日に絡めた連休をいつにするかは毎年末、政府によって決定されるというところです。

では一般的に国慶節の期間、中国の人々はどのように過ごすのでしょうか。建国を祝う休日なので、まず街のいたるところに中国国旗が掲揚され、世界各地の中華街でも、国慶節を祝うイベントが催されたりします。

また国慶節前後は大型の連休になることもあって、旅行に出かける人が多いのも特徴です。ちなみに今年 2025 年の国慶節（10 月 1 日）は中秋節（10 月 6 日）が重なるため、10 月 1 日（水）から 8 日（水）まで 8 連休とする会社もあるようです。

2024 年以降、訪日旅行の需要が急速に回復し、日本中どこに行っても外国人観光客を目にする状態です。中国からの旅行者に関しても、円安やビザ要件の緩和、日中間の直行便の増便などが追い風になり、多くの中国人旅行者が日本を訪れているようです。
旅の内容も、最近は「ショッピング」が中心の旅行から、「日本体験」や「田舎体験」「アニメ聖地の巡礼」など多様化しており、東京や大阪といった都市部だけでなく地方都市や自然豊かな田舎も旅先として人気が高まっているようです。
特に温泉地や紅葉スポット、グルメ体験など、日本ならではの魅力を求めて訪れる旅行者も増えていて、国慶節の連休中は、日本の観光地や街中で中国語を耳にする機会も多くなりそうです。

さて、石材業界の皆さんの国慶節の過ごし方ですが、「注文はいつでもお待ちしております」ということで、ほとんどの工場が休みなしで稼働しています。ただし、事務所や CAD 担当・字彫り原稿の担当など休みの部署もあるので、いつもよりレスポンスが遅くなることがあるかもしれません。その点はご容赦ください。

今月の石種紹介

大ヒットの予感です！！ 新石種をご紹介します。その名も「アラビアＶＢ」！
名前からもお察しの通り、中東産の御影石で弊社限定でのご紹介になります。

粒子の大きさはベストセラー「アーバングレー」と同じくらい。吸水率も低そうで非常に期待の持てる綺麗な石です。

採掘は大規模で行われていますが、今回トライアルとして 500 切ほど入荷しました。
長尺対応は 9 尺まで。外柵とセットでお使いいただくことも可能です。

※弊社調べ

［アラビアＶＢ］の物性データ

- 吸水率：0.053%
- 比重：2650kg/m3
- 圧縮強度：1215kg/m2

［アーバングレー］の物性データ

- 吸水率：0.056%
- 比重：2632kg/m3
- 圧縮強度：1185kg/m2

特徴：淡いグレー色が美しい御影石で耐久性も期待できます。
叩くとアーバングレーより甲高い金属音がするので、堅さは期待大です！
落ち着いた色合いが印象的で、アーバングレー同様にツヤのりの良さからくる
高級感も「アラビアＶＢ」の大きな特徴です。

特に、”石の硬度や吸水率が重要”とお考えの石材店様にはピッタリの石ではないかと思います。実際に簡易試験の結果は、アーバングレーの吸水率の低さを凌ぐ数値がでており期待が持てます。すでにご注文、ご購入いただいた石材店様も増えてきておりますので、実地での吸水状態なども追跡調査しながら確認していきたいと思っております。

皆さんが気になる肝心のお値段もご期待に添えると思いますので、関心をお持ちいただけた石材店様、ぜひ弊社営業担当にお声掛け下さい！

また、すでに弊社の高松ショールームに洋型墓石の商品展示もしております。
「実際の墓石に加工された状態を見ないとね」という石材店様、うどん県旅行も兼ねて、ぜひ高松ショールームに足をお運びください。

「アラビアＶＢ」については、また追加情報もご提供していければと思いますのでご期待ください。

季節の変わり目か、朝晩と日中の寒暖差が大きくなってきております。
お風邪などひかれませんよう体調にはお気をつけください。

それでは今月も最後までお読みいただきありがとうございました。

2025/10/01